

JSAI 2016

2016年度 人工知能学会全国大会(第30回)

ホーム » 開催案内

開催案内

2016 年度 人工知能学会 全国大会(第30回)

公立はこだて未来大学で開催した2015年の全国大会は、皆様のご協力により、630件の発表と1200名超の参加者による活気溢れる大会となりました。2016年の全国大会は、福岡県北九州市で開催します。

日 程 : 2016年6月6日(月)～6月9日(木)

会 場 : 福岡県北九州市 北九州国際会議場, 西日本総合展示場新館・本館, AIM 3F

スケジュール:

・オーガナイズドセッション提案応募締切: 2015年11月6日(金)

・発表申込(Webによる申込みのみを受け付けます)

申込期間 : 2016年1月5日(火)～15日(金)午後2時厳守

申込方法 : 全国大会ホームページ <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2016> をご参照ください。

論文の要件 : 論文該当分野に示される人工知能およびその関連分野の学術論文、事例報告またはソフトウェア

のデモンストレーション。言語は日本語または英語とします。

発表申込件数制限: 同一発表者が発表申込できる口頭発表の件数は、大会全体を通して最大1件です。

複数の発表をご希望の方は連名者や代理の方が発表申込をしていただくようお願いします。

論文の採択 : 一般論文の採択はプログラム委員会にて決定し、2016年2月中旬までに結果を通知します。

※ 採択通知後の変更は原則認められませんのでご注意ください。

※ 採択通知後に発表を取り消された場合も発表費はお支払いいただきます。

原稿提出期間: 2016年3月16日(水)～23日(水) 午後2時厳守

※ これ以降の受付を一切認めません。

論文集原稿 : 採択論文については、Webページで指定された形式の原稿2～4ページ(約4000～8000字相当)

をPDFファイルで電子的に提出していただきます。

論文事前閲覧: 大会開催に先立ち、採択された全論文のPDFファイルは、2016年5月23日(月)以降にWebで

公開されます。特許出願の際には、この日程にご留意ください。

※ 詳しくは大会ホームページをご覧ください。情報は随時更新されます。会誌 2015年11月号でもお知らせします。

福岡県北九州市は、福岡県北部、九州の最北端に位置する人口約96万人の政令指定都市です。本州とは源平合戦の舞台となった関門海峡と武蔵と小次郎の決闘があった巖流島を挟んで向かい合い、戦略的な要衝として戦国時代末期に築城された小倉城の城下町として栄えるとともに、九州の玄関口として、九州各地につながる街道の起点として、古くから陸海の交通の要衝として発展してきました。また1901年に操業を開始した官営八幡製鐵所を中心に発展した北九州工業地帯の中心都市でもあります。この官営八幡製鐵所など、日本の近代化に貢献した産業遺産群は、2015年7月「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界文化遺産に登録されることが決定となりました。最近では、新日本三大夜景として百億ドルの夜景と称される皿倉山からの夜景、森鷗外旧居や小倉城址内の松本清張記念館、アインシュタイン博士が宿泊した部屋を今も当時のまま残している三井倶楽部がある門司港レトロなどが観光スポットとして注目されています。また、門司港を発祥の地とするバナナの叩き売り、関門海峡育ちの身の引き締まったふぐや近海の新鮮な魚のほか、焼きうどん、焼きカレー、戸畑チャンポン、八幡ぎょうざなどのB級グルメも充実しています。さらに、市内には「デスノート」「図書館戦争」「ロボジー」「MOZU」など著名映画やドラマのロケ地も散在しています。

福岡県北九州市における全国大会の開催は、2005年以来、11年ぶりの2回目となります。今回は、前回利用した北九州国際会議場に、隣接した西日本総合展示場新館・本館とAIM 3Fを加え、ほぼ2倍の規模での開催を準備しています。各会場は、山陽新幹線の停車駅でもあるJR小倉駅に直結した国際コンベンションゾーンにあり、ホテルや飲食街・ショッピングゾーンにも隣接しています。小倉駅から最も遠い国際会議場でも徒歩で約10分、各施設間の移動は徒歩で約5分と、アクセスの良い会場となっています。

このように魅力ある都市、北九州で「人工知能」について再び語り合うことは非常に有意義であり、コンパクトな会場で互いに議論を深めることは、研究に新鮮な風を吹き込むことにつながるのではないかと思います。

大会プログラムでは、招待講演、特別講演、一般発表セッション、オーガナイズドセッション、近未来チャレンジセッション、インタラクティブセッションを予定しています。皆様からの発表・参加申込をお待ちしております。



検索

JSAI 2016

2016年度 人工知能学会全国大会(第30回)

ホーム » 大会委員

大会委員

大会委員会

大会委員長



浦本 直彦
(日本IBM)

実行委員会

実行委員長



平松 薫
(NTT)

実行副委員長



福島 俊一
(NEC)

プログラム委員会

プログラム委員長

プログラム副委員長



有村 博紀
(北海道大学)



高間 康史
(首都大学東京)

企業参加推進担当



芦川 将之
(東芝)



窪澤 駿平
(NICT)

現地運営担当



平田 耕一
(九州工業大学)



中村 貞吾
(九州工業大学)



坂本 比呂志
(九州工業大学)



国近 秀信
(九州工業大学)



酒井 浩
(九州工業大学)



浅海 賢一
(九州工業大学)

Web担当

近年、ビッグデータ、IoT、ロボット、自動運転等、新たな技術の研究が国内外で精力的に行われています。これらの技術は人工知能（AI）の技術と密接な関連があります。

ところで、AI 技術を使いこなして事業を行っている企業はまだ多くはないと考えられます。当研究会は、AI の応用研究を実社会に実装することを目指しています。研究会発足に当たり、日本有数の AI 研究者から「研究会の目指すところ」、「人工知能の未来」について講演いただきます。

北九州から AI 応用技術を発信

「ひびきの AI 社会実装研究会」発足記念セミナー

日時

2016年6月8日 水

場所

北九州学術研究都市 学術情報センター 遠隔講義室 1

プログラム

15:00 ~ 15:05 主催者挨拶

15:05 ~ 15:35

講演 1 「ひびきの AI 社会実装研究会の目指すところ」

九州工業大学 顧問・名誉教授 石川眞澄 氏

15:35 ~ 16:45

講演 2 「人工知能の未来

…ディープラーニングの先にあるもの…」

東京大学大学院 工学系研究科 特任准教授 松尾豊 氏



お申込み・お問合せ

(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号

FAX : (093)695-3439

URL : <http://www.ksrp.or.jp/fais/iac/>

産学連携統括センター HP 第 146 回産学交流サロン
参加申し込みフォームもしくは裏面 FAX にて
お申込下さい。

産学連携統括センター 北九州

検索

北九州から AI 応用技術を発信 ～「ひびきの AI 社会実装研究会」 発足記念セミナー～

2016年6月8日(水)
セミナー 15:00～16:50
懇親会 17:00～18:00

講師紹介

講演1「ひびきの AI 社会実装研究会の目指すところ」
九州工業大学 顧問・名誉教授 石川眞澄 氏

AI技術シーズと応用例の国内外の現状を踏まえ、技術シーズと企業・地域ニーズのマッチングに基づいて、AI応用の実証実験を行い、社会への実装を通してわが国産業の未来を拓きたい。

- 1974年 東京大学工学系研究科博士後期課程修了、工学博士。
- 1974年 通産省電子技術総合研究所研究員、主任研究官。
- 1990年 九州工業大学情報工学部教授。
- 2000年 同生命体工学研究科教授、研究科長、理事、副学長。
- 2016年 九州工業大学顧問、名誉教授。



懇親会 17:00～18:00
一般会費 1,000円 学生 500円
(※ひびきの会員は無料)

**講演2「人工知能の未来
…ディープラーニングの先にあるもの…」**
東京大学大学院工学系研究科 特任准教授 松尾豊 氏

本講演では、人工知能の最新動向、特にディープラーニングを取り巻く状況について述べます。ディープラーニングの仕組みや人工知能における意義を解説し、さらに今後、どのように人工知能の技術が発展するか、また、人工知能の発展が産業や社会に与える影響やその可能性について解説します。

- 2002年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。
- 2005年 スタンフォード大学客員研究員。
- 2007年 東京大学大学院工学系研究科准教授。
- 2014年 シンガポール国立大学客員准教授。
- 同年、東京大学大学院工学系研究科特任准教授。

ひびきのへのアクセス

[車の場合]

北九州都市高速道路
黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車折尾方面へ)

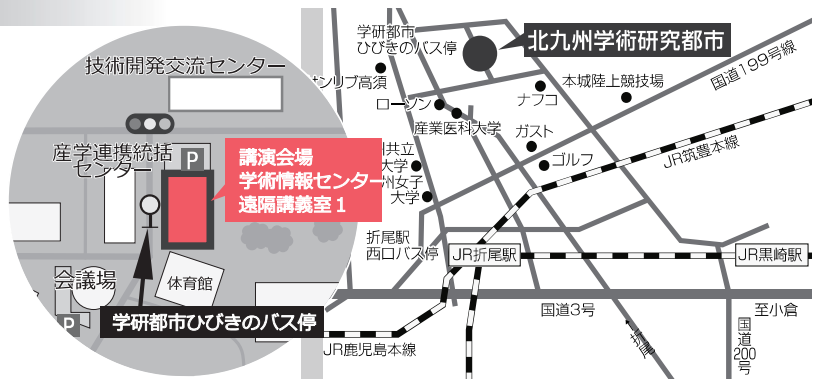
▼ 学術研究都市

※北九州都市高速道路
黒崎出入口から
所要時間 20分

[公共交通機関の場合]

鹿児島本線『折尾駅』
下車

▼
北九州市営バス
折尾駅西口
→学研都市ひびきの
※所要時間約 15分



FAXでのお申込みはこちらから

(093) 695 - 3439

※のある箇所は必ずご記入下さい。

第146回ひびきののサロン参加申し込み

ふりがな 参加者氏名 ※			
貴社名 ※			
所属・役職			
住所	〒		
電話番号	FAX 番号		
E-mail ※			
交流会 ※	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない		
メールマガジンによるサロン等の案内を ※	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 登録済		

ご記入いただいた個人情報、(公財)北九州産業学術推進機構が別途定めております個人情報保護方針に基づき細心の注意を払い取り扱います。無断で第三者に提供することはありません。当財団が関与する産学連携に関するイベント等についてDMやE-mail等にてご案内する場合があります。



三木会

さんもくかい

最近よく耳にする「地方創生」では、人口減少や超高齢化といった日本が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的・持続的な社会をつくっていくことを目指しています。それには、地域の課題を地域自らが適切に把握し、解決していくことが欠かせません。

6月の三木会は、地域づくりに取り組む 本学工学研究院 建設社会工学研究系の吉武 哲信教授から、地域における課題解決に向けた取り組み事例等を紹介頂きます。

平成 28年 6月16日 木 16:30～

会場：九州工業大学 戸畑キャンパス

コラボ教育支援棟3階 セミナー室（裏面地図参照）

TV中継会場：九州工業大学 飯塚キャンパス

AV講演室（共通教育研究棟1階）

※TV中継での聴講のみとなります。

16:30 - 17:30 : 講演会

吉武 哲信 氏

九州工業大学大学院工学研究院 建設社会工学研究系 教授



「地域づくりの実践・研究の現場から」

【講演概要】

地域づくりは基本的に住みやすく持続可能な地域をつくることを目指します。したがって地域づくりにはインフラ整備、コミュニティ強化、医療・福祉サービスなど多様な分野からアプローチできますが、最終的にはそれらが統合されて初めて実現できるものと考えています。講演では、私がこれまで関わってきた地域づくりにおいて、どのような地域課題があり、どのような分野横断的・統合的なアプローチをとって改善・解決しようとしてきたかを、いくつかの事例を通じて紹介できればと考えています。

講師プロフィール

昭和62年3月 九州大学大学院工学研究科修士課程修了
昭和63年3月 九州大学大学院工学研究科博士後期課程退学
昭和63年4月 九州大学工学部土木工学科助手
平成3年4月 九州産業大学工学部専任講師
平成7年4月 宮崎大学工学部土木環境工学科助教授
平成13年3月～平成14年1月 デンマーク・オールボー大学地域開発学科客員研究員
平成25年4月～ 九州工業大学大学院工学研究院建設社会工学研究系・教授

17:40 - 18:30 : 交流会（名刺交換会 参加費無料）

※飲食物の提供はありません。講師や参加者同士で名刺交換したり、ゆっくり情報交換いただく時間です。（会場には椅子・机を準備します。当日参加も可能です。）

お申し込み

お問い合わせ

国立大学法人 九州工業大学 イノベーション推進機構

TEL: 093-884-3485 FAX: 093-881-6207

HP: <http://www.ccr.kyutech.ac.jp/collabo/>



サイエンスカフェ

science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Caf é Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

第34回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日 時：2016年 6月 17日(金)
18:00 ~ 19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『つながり』をめぐる冒険

●ゲスト：たけもと かすひろ 竹本 和広 氏

(情報工学研究院
生命情報工学研究系 准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要 (定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



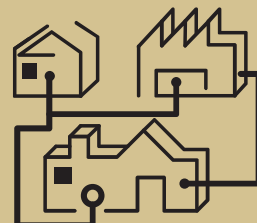
ゲスト紹介

たけもと かすひろ

竹本 和広 氏

情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授

なぜ、私たちはつながりあうのでしょうか。これは重要な問いでありながら、私たちは、その答えを「いまだに」知りません。「私たちは、つながりあえない」と結論する逆説が得られるからです。なぜ、直感に反するのか。科学者はこの問いに、数理科学、生物学、社会学など様々な視点から挑んできました。分かってきたこと、暮らしの中で役立っていることなどを含めながら、この「つながり」をめぐる冒険についてお話しします。



やりた
 いこと、
 きつと
 見つかる
 建築以来、百年、「技術に堪能なる土君子」を
 生み出し続ける九工大



TOBATA CAMPUS



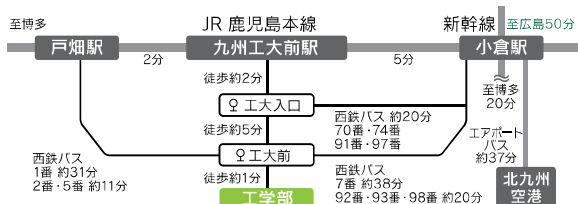
IIZUKA CAMPUS

Open Campus 2016

工学部 戸畑 キャンパス

8.5 FRI **.6** SAT
 START ⇒ 10:00 ~ 13:30 ~

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 機械知能工学科 | 未来の機械をつくり、意のままに動かす。 |
| 建設社会工学科 | 強く美しく豊かな明日の都市デザイン。 |
| 電気電子工学科 | 生活と産業の基盤を支える電気電子システム。 |
| 応用化学工学科 | 原子・分子スケールから探る世界。 |
| マテリアル工学科 | 科学技術の根幹を支えるマテリアル。 |
| 総合システム工学科 | 時代が求める工学のエッセンスを一つに。 |

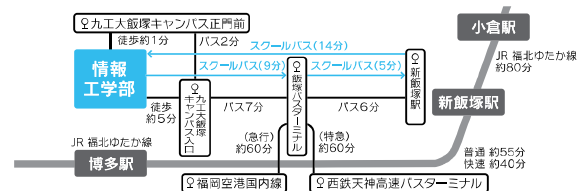


福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1 TEL 093-884-3332 工学部教務係

情報工学部 飯塚 キャンパス

7.16 SAT **.17** SUN
 START ⇒ 9:30 ~ 12:50 ~

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 知能情報工学科 | 人とコンピュータが協調する、新しい情報技術。 |
| 電子情報工学科 | ハードとソフト。卓越したスペシャリストへ。 |
| システム創成情報工学科 | 研究対象は全く新しい「システムの創成」。 |
| 機械情報工学科 | ロボット空間をマイクロレベルまでデザインする。 |
| 生命情報工学科 | 生命はすぐれた情報システム。 |



無料バス オープンキャンパス期間中、田川方面行き飯塚駅(スターミナル)停留所横、新飯塚駅西口を出て右手のロータリー、情報工学部を巡回するスクールバスを運行します。期間中はどなたでも無料でご利用いただけます。詳しくは、情報工学部ホームページ http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/school_bus/ をご覧ください。

福岡県飯塚市川津680-4 TEL 0948-29-7512 情報工学部教務係

ホームページに詳しい情報満載!! ⇨ <http://www.kyutech.ac.jp/examination/oc-opencampus.html>

お問い合わせ先 **九州工業大学 入試課** TEL.093-884-3056
 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1 FAX.093-884-3060

スマートフォンからは
 こちら
 ※事前のお申し込みは不要です。





平成28年 7月30日(土) 8月6日(土) 7日(日)

in 九州工業大学 情報工学部

現在、活躍している研究者と大学の最先端の研究成果の一端を見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学(学術)がもつ意味を理解してもらおうプログラムです。

高校生対象 平成28年度受講生募集
(各プログラム 定員12名)

コンピューテーションへの誘い

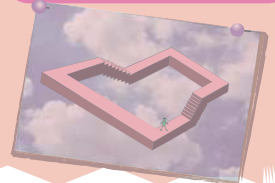
知能情報工学研究系 教授 平田 耕一

プログラム
①

本プログラムでは、「コンピュータによる計算」が原理的にできない問題、原理的には計算できるが現実的に計算できない問題、現実的に計算できる問題の計算効率について、講義と実習を通して体感してもらいます。



7月30日(土)
10:00~16:00



超伝導体の不思議な世界

電子情報工学研究系 教授 小田部 荘司

プログラム
②

本プログラムでは、まず、極低温の世界を体感してもらいます。そして、極低温での超伝導体が磁石と同じように反発しあうけれども、ただ反発するだけではなく、安定し反発することを、磁気浮上実験によって体感してもらいます。



7月30日(土)
10:00~16:00



唇の動きを解析！読唇できる？

システム創成情報工学研究系 准教授 齊藤 剛史

プログラム
③

私たちは唇を動かしながら音声を発しています。この口唇の動きを読み取る読唇技術にコンピュータが挑んでいます。本プログラムでは、読唇技術を紹介し、コミュニケーション支援機器を体感してもらいます。



8月6日(土)
10:00~16:00



ロボット技術から学ぶ人間の不思議

—一人の感覚を探る—

機械情報工学研究系 教授 林 英治

プログラム
④

人の感覚とは何なのか？音楽と身体の間わりとは何なのか？本プログラムでは、これらの問題をロボット技術でどのように解決しているのかについて、講義とロボットの実験・実習を交えながら触れてもらいます。



8月6日(土)
10:00~16:00



生物の創るナノ世界探訪

—コンピュータと顕微鏡を組み合わせた新しい自然観察—

生命情報工学研究系 教授 安永 卓生

プログラム
⑤

本プログラムでは、コンピュータを使ったタンパク質の「かたち」を観る技術と、実際に電子顕微鏡を使った実習とを共に経験しながら、普段観られない自然の姿を観察します。



8月7日(日)
10:00~16:00





会場

九州工業大学情報工学部
インタラクティブ学習棟 (MILAI5)

スケジュール

10:00-10:30	受付	13:00-14:30	実習
10:30-11:00	開講式	14:30-15:00	ティータイム
11:00-12:00	講義・実験	15:00-15:30	講義
12:00-13:00	昼食	15:30-16:00	修了式・解散

昼食とティータイムのお茶・お菓子はこちらで準備します。

プログラム

- | | | | |
|------|---|-----|--|
| 7/30 | 1 コンピューテーションへの誘い 定員12名
知能情報工学研究系 教授 平田 耕一 | 8/6 | 3 唇の動きを解析！読唇できる？ 定員12名
システム創成情報工学研究系 准教授 齊藤 剛史 |
| 7/30 | 2 超伝導体の不思議な世界 定員12名
電子情報工学研究系 教授 小田部 荘司 | 8/6 | 4 ロボット技術から学ぶ人間の不思議 定員12名
機械情報工学研究系 教授 林 英治 |
| | | 8/7 | 5 生物の創るナノ世界探訪 定員12名
生命情報工学研究系 教授 安永 卓生 |

アクセス

- JR博多駅 ➡ JR新飯塚駅快速 約40分
- 西鉄天神高速バスターミナル ➡ 飯塚バスターミナル 特急バス 約50分 15分毎に運行

スクールバス運行表 無料

飯塚バスターミナル ➡ JR新飯塚駅 ➡ 九州工業大学
09:11 09:16 09:30
09:45 09:50 10:04
九州工業大学 ➡ 飯塚バスターミナル ➡ JR新飯塚駅
16:15 16:19 16:24

JR新飯塚駅から 飯塚バスターミナルから
スクールバスをご利用ください

平成28年度 受講生募集 応募方法

※定員になり次第受付終了します。ご了承ください。

下のいずれかの方法でお申し込みください。 ●後日、資料を送付いたします。

- 電話** 受付時間 平日10:00~17:00 下記必要事項をお伝えください。
- FAX** 必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください。
- WEB** URLの申込フォームに必要事項を記入の上、お申し込みください。
●ホームページ: <http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/hirameki>
- E-mail** 必要事項を記入の上、メールでお申し込みください。
●メールアドレス: hirameki@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

お問い合わせ・お申し込み 情報工学部 広報室 TEL 0948-29-7509 FAX 0948-29-7517



FAX 専用 申込用紙

下記項目に必ず記入ください。

<p>■ 高校名 _____ (フリガナ)</p> <p>■ 氏 名 _____</p> <p>■ 希望するプログラム</p> <p>1. コンピューテーションへの誘い 7/30</p> <p>2. 超伝導体の不思議な世界 7/30</p> <p>3. 唇の動きを解析！読唇できる？ 8/6</p> <p>4. ロボット技術から学ぶ人間の不思議 8/6</p> <p>5. 生物の創るナノ世界探訪 8/7</p> <p>一開催日につき一つのプログラムを受講できます。 (1と3、2と4など) 希望するものに○をつけてください。</p>	<p>■ 学年 _____ 年生</p> <p>■ 性別 男性・女性</p> <p>■ 住所 干 _____</p> <p>■ 電話番号 _____</p> <p>■ メールアドレス _____</p> <p>■ 家族・学校関係者見学(参観) 無・有 (参観者氏名)</p> <p>■ 保護者の同意 無・有</p>
---	---

※上記にてご入力いただいた個人情報は、受講申込み目的に使用させていただきます。それ以外の目的や第三者に開示・提供をいたしません。